

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【公開番号】特開2014-54597(P2014-54597A)

【公開日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-016

【出願番号】特願2012-200629(P2012-200629)

【国際特許分類】

B 01 J 27/185 (2006.01)

B 01 J 32/00 (2006.01)

B 01 D 53/94 (2006.01)

B 01 J 35/02 (2006.01)

B 01 J 37/08 (2006.01)

【F I】

B 01 J 27/185 Z A B A

B 01 J 32/00

B 01 D 53/36 1 0 2 B

B 01 J 35/02 H

B 01 J 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月26日(2014.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トリディマイト型リン酸アルミニウム焼成体上に、0.50nm以上、2.0nm以下の平均粒径を有するPt、Rh、Pdからなる群から選択される少なくとも1種の白金族金属を担持してなる、排ガス浄化用触媒。

【請求項2】

前記白金族金属がPdである、請求項1に記載の排ガス浄化用触媒。

【請求項3】

焼成体に対する前記白金族金属の担持量が、0.0001wt%~2.0wt%である、請求項1または2に記載の排ガス浄化触媒。

【請求項4】

pHが3.5~4.5になるように調整した水溶液から得たリン酸アルミニウムを100~1200の温度で2時間以上焼成してリン酸アルミニウム焼成体を得る工程と、

前記リン酸アルミニウム焼成体上に、0.50nm以上、2.0nm以下の平均粒径を有するPt、Rh、Pdからなる群から選択される少なくとも1種の白金族金属を担持させる工程と、

を含んでなる、排ガス用浄化触媒の製造方法。

【請求項5】

前記白金族金属がPdである、請求項4に記載の排ガス浄化用触媒の製造方法。

【請求項6】

焼成体に対する前記白金族金属の担持量が、0.0001wt%~2.0wt%である

、請求項4または5に記載の排ガス浄化触媒の製造方法。